

広がる善意の輪

Instagram

Facebook

ホームページ



ホームページ、Facebook、Instagramにも掲載しています。ぜひご覧ください！

昭和37年5月1日、全国で最初に誕生した本会の善意銀行は、各方面の深いご理解とご協力により支えられております。新型コロナウイルスの流行が終息を見ない中、誰かを思いやる気持ちによってつながる善意の輪を一部ではありますがお届けします。

大分ロータリークラブ 様



創立70周年記念事業としてご寄附いただきました！
(留学生支援指定寄附) ※P2フードバンクマルシェ参照

大分県農協農政推進本部 様



大分県産米 2,500kg をご寄贈いただきました！
(子ども食堂、留学生、生活困窮者等支援指定寄附)

株式会社大分放送(OBS) 様



ハッピーキッズキャンペーンの一貫としてご寄附いただきました！
(児童養護施設への指定寄附)

株式会社SYSKEN 様 明正電設株式会社 様



次亜塩素除菌消臭噴霧器32機と、次亜塩素酸水16箱などのご寄贈をいただきました！
(新型コロナ対策指定寄附)

保険代理店アシタエ 様



社会貢献活動「一緒に祝おうプロジェクト」の一貫としてご寄附をいただきました！
(子ども支援への指定寄附)

大分みらい信用金庫 様



お米とお米券をご寄贈いただきました！
(営業地域の52カ所の子ども食堂への指定寄附)

善意銀行預託者

令和3年4月～7月 (敬称略・五十音順)

- 大分キャノンマテリアル(株)
- 大分県教職員組合
- 大分県農協農政推進本部
- 大森 康正
- 大分みらい信用金庫
- 大分ロータリークラブ
- 株式会社SYSKEN
- 株式会社
- ホームインブルーメントひろせ
- 加藤 忠廣
- 株式会社新星工業
- 株式会社スズキ
- 株式会社セブン-イレブン・ジャパン
- 株式会社大分放送
- 川原 礼華
- 九州電力新大分発電所
- 邦久汽船有限会社
- 「古事記～音楽、舞踏、演劇で織りなす日本の神秘」
- 社会福祉法人 太陽の家

- START!
- 生活協同組合コープおおいた
- 玉井 春平
- TOTOアクアテクノ株式会社
- Dream 財団
- パラマウントベッド株式会社
- 保険代理店アシタエ
- 明正電設株式会社
- 有限会社みどり調剤薬局
- ゆめマート日田

いつもありがとうございます



大分社会福祉

だいふく No.194

発行／令和3年9月

発行・編集／社会福祉法人 大分県社会福祉協議会

〒870-0907 大分市大津町2-1-41 TEL (097)558-0300 FAX (097)558-1635 Eメール info@oitakensyakyo.jp

だいふく

大分社会福祉

No.194
2021.9



特集

留学生に食料支援「フードバンクマルシェ」開催



Instagram

やってます

facebook

ぜひ登録をお願いします

大分県社協

検索

<http://www.oitakensyakyo.jp>



この広報誌は、共同募金の助成を受けて発行しています

- あなたの街にも地域共生の取り組みを
- おいもーさんのここが知りたい！「おおいとくらしサポート事業」
- おおいと子ども食堂ネットワーク／「おおいと子ども食堂」HP
- いざという時のために成年後見制度
- 社会貢献活動「中津市もみじ園」紹介
- あすびおおいた主催大会報告
- 令和2年度大分県社会福祉協議会決算報告／賛助会員
- 第32回豊の国ねんりんピック シルバーふれあい短歌・俳句・川柳
- 広がる善意の輪／善意銀行

留学生に食料支援 **FOODBANK MARCHE** 開催

趣 旨

県内の留学生(短大・大学院を含む大学及び専門学校に在籍する留学生)は3,500人超と、大分県は全国的にみても留学生の多い県です。留学生は今、新型コロナ禍で本国からの仕送りやアルバイト収入が激減し、食料にも事欠くなど、苦境に立たされています。

この状況を知った大分ロータリークラブから、創立70周年記念事業の一環として留学生支援のためのご寄附をいただき、これを活用して大分県社協・NPO法人大学コンソーシアムおおいたの両者主催により、留学生に食料品(5kgのお米や飲料、カップ麺、お菓子等)や日用品を無償で提供するプロジェクト「フードバンクマルシェ」を開催することとしました。

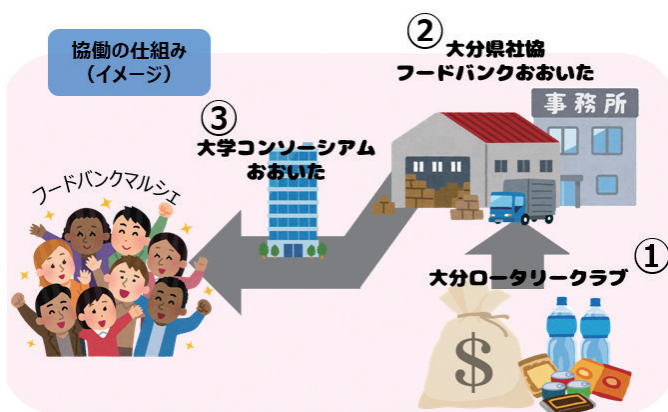
留学生の声

- 新型コロナウイルスの流行により、留学生の主なアルバイト先だった**飲食業や宿泊業が営業不振に陥り、生活費や授業料をまかなえなくなっている。**
- **母国がロックダウンになり、親からの仕送りが途絶えている。**(パキスタン、バングラデシュ、ネパール、イラン等)
- コンビニ等のアルバイト先が**(他のバイト先を辞めた)日本人学生を率先して雇用することにより、仕事の機会が減少**している。等

大分県で学ぶ留学生や元留学生の皆さん(卒業したものの、母国に帰れず日本に残らざるを得ない方)を
支援したいという想いで、フードバンクマルシェを企画・実施。

仕組み

大分ロータリークラブからの支援を受け、大分県社協・大学コンソーシアムおおいたの協働事業として開催。三者協働の流れとしては次のとおりです。



① 大分ロータリークラブからお預かりした寄附金を活用し、イベント運営を行うアルバイト留学生の雇用、配送用トラックのレンタル、食料品や日用品の追加購入等を実施。

② 県民・企業の方々から大分県社協(フードバンクおおいた)に寄贈いただいたお米、食品、日用品も配布できるように整理・準備。

大分県社会福祉協議会は、平成28年に『フードバンクおおいた』を立ち上げ、生活困窮者に対して食料品の支援を実施しており、新事業として、留学生向けの支援を企画しました。

③ 大学コンソーシアムおおいたと協働し、留学生への食料支援プロジェクト「フードバンクマルシェ」を開催。

フードバンクマルシェ当日

フードバンクマルシェ当日はアルバイトの留学生8名が加わり、会場設営から受付、ハラル仕分け、物品の配布など幅広い業務にも積極的に取り組んでくれました。

第1回 7月17日開催

大分会場 J:COMホルトホール



約100名の留学生に食品等を提供

様々な種類の食品等が並び

第2回 9月17日開催

別府会場 OITA APU PLAZA 大分留学生ビジネスセンター



約200名の留学生に食品等を提供

日本語表記のものはスタッフが説明

ハラル仕分けも実施

ハラルとは、イスラム教徒が口にしても良いとされる食品のことです。イスラム教には細かい決まりがあり、中でも特に、『豚肉』『アルコール』は全面禁止となっています。写真は、県社協スタッフが留学生アルバイトの方と一緒に、ハラル仕分けをしているところです。少しでも留学生の皆さんに喜んでもらえるような配慮をしています。



今後の日程の案内

- 第1回 … 令和3年 7月17日(土)終了
- 第2回 … 令和3年 9月17日(金)終了
- 第3回 … 令和3年10月30日(土) ※大分の会場で実施予定
- 第4回 … 令和3年12月中旬 ※別府の会場で実施予定
- 第5回 … 令和4年 2月中旬 ※大分の会場で実施予定

※第3回以降は予定も含みます。
詳細が決まり次第、大学コンソーシアムおおいたHPや各学校への掲示等により周知します。



あなたの街にも「地域共生」の取り組みを ～臼杵市“たんぽぽの会”～

到着したJR上臼杵駅には2,500羽の折り鶴が揺れていました。
この折り鶴を制作したのは、ひきこもりや生活困窮者、障がい者や認知症の方、そのご家族等、様々な方が気軽にかけられる「居場所」づくりに取り組んでいる団体「たんぽぽの会」。折り鶴は全20色で折られ、東京オリンピックやLGBTQ(性的少数者)への理解、新型コロナウイルスの終息など、様々な思いが込められています。

たんぽぽの会は、熱い思いをもった住民の皆さんと、臼杵市社会福祉協議会との協働の取組み。毎週火曜日、定例で上臼杵駅に集まります。

駅舎を管理する住民組織「南部地区振興協議会」の協力を得て、駅舎内に設けたテーブルと椅子で、みんなで楽しくおしゃべりをしながらの作業です。日頃は、駅を利用する学生さんや臼杵石仏を見に来た外国人など、様々な方とのふれあいがあり、垣根のない開かれた場所だからこそ、誰もが気軽に交流できます。この日は、スタッフやボランティアも含めて8名が折り鶴に糸を通して近況を話していました。

「家から出るきっかけづくりをしたかったんです。障がい者の就労支援や、高齢者の介護保険では届かない部分、“狭間”にいる方々や家族に対する支援の1つとして、誰でも来たい時に来られる場所を作りたい。」こう話すのは、代表の麻生恵子さん。

「ここに来て、みんなと交流し話しをするようになって、変わる方が本当に多い。ずっと家から出られなかった方がすごく長かった髪を突然バツサリ切ってきたこともあります。お菓子をつくってみんなにふるまってくれた方もいました。たった半年で、卒業して仕事についた方もいます。ここのメンバーが市内のあちこちに「ポッポッ」と飛んでいって、さらに色々な方を巻き込んでほしい。そんな願いを「たんぽぽの会」の名前に込めているんです。小さな種が、あちらこちらに大輪の笑顔を咲かせる日も近いことでしょう。



楽しいよって言われて、何をやるのかもわからずについてきたのが始まりですね。ここで元気をもらってる。だからやめられんわね！

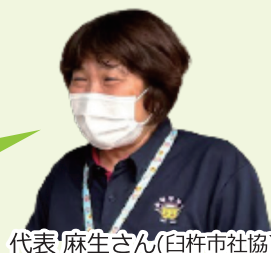
家にいたら誰とも話さないでしょ？ 笑うこともない。ここに来るとほんっとに楽しい！生きがいです。

参加者の方

2年前から活動を始め、「内職作業募集」のチラシを片手に、地元企業を一軒一軒まわりました。その甲斐あって、最近では野菜の選別や袋詰め、シール貼り、商品の検品作業など、少しずつ色々な注文が来るようになってきました。まだまだ色々な企業の方に知っていただいて、注文をいただきたいです。ご連絡をいただければ詳しいお話をさせていただきます！



ボランティアの方



代表「麻生さん(臼杵市社協)」



軽作業をご依頼したい方は、まずは大分県社会福祉協議会地域福祉部(TEL 097-558-0305)までお電話ください。

「働きたい！」を応援する取組み



オンライン会議の様子

大分県社協では、大分県中小企業家同友会(以下、同友会)と連携した、生活困窮者等の就労支援に取り組んでいます。

同友会には「障がい者問題委員会」という組織があり、「障がい者と共に働き、暮らすことがあたりまえの社会をめざして」をスローガンに、会員中小企業における障がい者雇用の促進に向けた活動を展開中。その中で、生活困窮者の就労支援にもご協力いただき、毎月1回開催される委員会において意見交換や情報共有を行っています。

生活困窮者の方が社会に踏み出す一歩を後押しできるように、これからも同友会の皆さまと連携して、支援を進めていきます。

※生活困窮者とは？…生活に困りごとを抱えている方(コミュニケーションが苦手、ひきこもり、発達障害の疑いがある、金銭管理が苦手等)で、生きづらさを抱えている方のこと。適切なサポートが必要となる。

おいもとーさんのここが知りたい！



おおいた“くらしサポート”事業の
コミュニティソーシャルワーカー(CSW)って
どんな活動をしているの？



今回のテーマは「おおいた“くらしサポート”事業」です！

みなさん、こんにちは。「だいふくん」のお父さん、「おいもとーさん」です。今回のテーマは、平成27年8月から事業を開始し、6年が経過した「おおいた“くらしサポート”事業」。お話をお伺いしたのは、事業開始当初からコミュニティソーシャルワーカー(略称:CSW)として活動している児童家庭支援センター「ゆずりは」センター長の垣迫弘美さんです。



児童家庭支援センター「ゆずりは」センター長 垣迫弘美さん

相談を受ける方はどういった方が多いですか？

私が所属している「児童家庭支援センターゆずりは」は子どもや家庭に関する相談機関であるため、くらしサポートについても子育て家庭からの相談が多いです。また、学校のスクールソーシャルワーカーや行政の子育て支援課から経済的支援に関する相談を受けることも多くなってきました。

くらしサポートでご相談を受ける際に心がけていることはありますか？

まずは「話をよく聞く」ということです。経済的な困りごとを抱えた相談にみえますが、丁寧に話を聞いてみるとそれが主訴ではないことも少なくありません。経済的のみならず複合的な困りごとを抱えて相談にみえますので、話をよく聞いて、隠れた困りごとや課題を一緒に見つけていくことを心がけています。その上で、くらしサポートを利用したり、他制度や他機関につなげたりするようにしています。

これまでの活動のなかで感じていることはありますか？

いつも「もっとこうできたのではないか」、「本当に支援は必要だったのか」と感じることも多いです。どんな支援がその方の自立の手助けになるのかの見極めが大事だと感じます。金銭的な支援ができて、自立につながらないこともあります。社会とのつながり、関わりに乏しく、孤立してしまっている方も多いため、経済的な支援にとどまらず、社会とつながれるような支援を心がけています。

「くらしサポートセンター」の活動を行うことで、児童家庭支援センターの活動との相乗効果はありましたか？

それは本当にあります。相談者の中には、経済的なことは自分の責任と考えている方も多く感じます。また、どこに話しても支援を受けるのは難しいと思っているようです。経済的支援という手段をもつことで、利用者の生活の困りごとを聞くだけでなくとどまらず、解決につながるできるようになりました。これはとても大きな効果として感じています。また、相談者の安心感や信頼感につながっているようにも感じます。

CSWとして仕事のやりがいや興味深いところはあったところですか？

経済的支援を柱に、寄り添う支援を実施し、相談者の自立した生活が見えたとき相談者と共にうれしい気持ちになるのは言うまでもありません。

また、支援を行うなかで、既存の制度では対応できない生活課題に直面することが多くあります。そういった時に、くらしサポートは柔軟に対応でき、既存にはない新しい仕組みを作っていける可能性を感じます。制度外の課題に直面した時、一歩踏み出し、新たな仕組みを発想できることがCSWの醍醐味ではないでしょうか。

では、最後にくらしサポート事業への期待をお願いします。

くらしサポートの様に他の種別の課題を知り、種別が違っても一緒に取り組める仕組みは多くないと思います。くらしサポートの活動はCSWの力にもなり、施設・法人にとっては「地域課題を知り解決に取り組む」という福祉の人材育成にもつながる取り組みだと思います。是非、今後とも、くらしサポートの取り組みを進め、広げてほしいと思います。

【参考】「おおいた“くらしサポート”事業」とは、生活にお困りの方等に対する社会福祉施設のコミュニティソーシャルワーカーによる相談支援活動、経済的援助活動のことをいう。大分県内の社会福祉法人・施設が連携・協働して、既存の制度では対応しきれない制度の狭間の問題や、生活困窮等の様々な福祉課題を解決することを目的として実施している。相談件数は累計607件、経済的援助支出額は累計22,716千円となっている。(平成27年8月から令和2年度末まで)
※取組に賛同した社会福祉法人が資金を拠出し「基金」を設置、「大分県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会」が運営。
事務局:大分県社会福祉協議会施設団体支援部(電話:097-558-0319)

おおいた子ども食堂ネットワーク

第1回 子ども食堂運営者・支援者研修会

防災士であり宮崎市子ども食堂コーディネーターの黒木淳子さんを講師に迎え、防災について研修会を開催しました。

前半の講話では、子ども食堂防災マニュアルを使い、子ども食堂の設備や周辺の環境などをチェックしながら、日ごろからの備えや注意点を学び、後半は、運営スタッフと参加者の役に分かれ、子ども食堂開催中の火災を想定した避難訓練を行いました。子ども役の参加者が机の下から出てこなかったり、避難経路に椅子や箱などの障害物があったりと、あらゆる場面を想定した訓練は、「スタッフの役割分担や子どもへの声掛けの仕方がわかった」「問題点がわかりスタッフのミーティングで話し合いたい」など、参考になる研修会となりました。



子ども食堂 立上げ相談会

6月より毎月1回、子ども食堂を立上げたい方、子ども食堂に協力したい方などを対象に、立上げ相談会を開催しています。

子ども食堂に興味のある方も大歓迎！ ご参加お待ちしております。

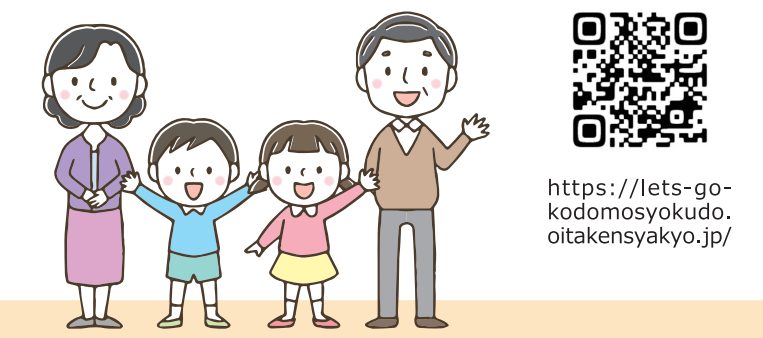
第2回立上げ相談会の様子



「おおいた子ども食堂ホームページ」リニューアル

6月におおいた子ども食堂のホームページをリニューアルしました！

県内の子ども食堂の情報や研修会などの情報を随時更新しています。



「おおいた子ども食堂ホームページ」
新しくロゴができました！

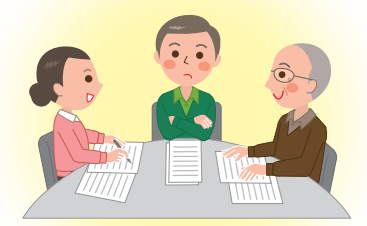
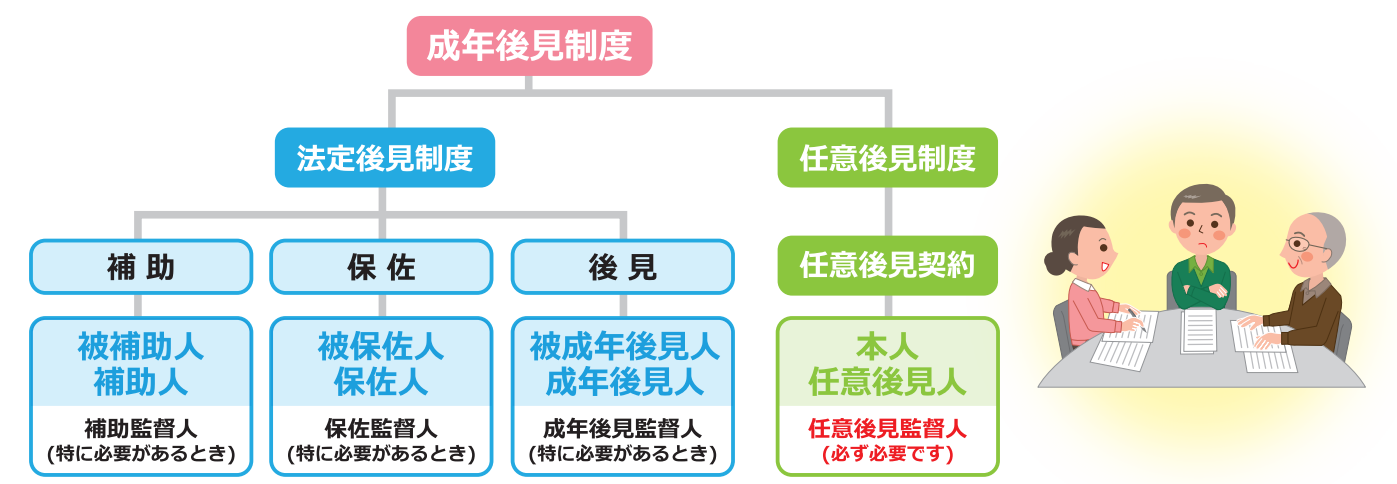
いざという時のために成年後見制度

成年後見制度とは

認知症、知的障がい、精神障がいなどの理由で判断能力の不十分な方々は、不動産や預貯金などの財産を管理したり、介護サービスや施設への入所に関する契約を結んだり、遺産分割の協議をしたりする必要があるとしても、自分でこれらのことをするのが難しい場合があります。また、自分に不利益な契約であってもよく判断ができずに契約を結んでしまい、悪質商法の被害にあうおそれもあります。このような判断能力の不十分な方々を保護し、支援するのが成年後見制度です。成年後見制度は大きく分けると、法定後見制度と任意後見制度の2つの制度があります。



成年後見制度の種類



法定後見制度

- 判断能力が不十分になった方が利用できる。
- 判断能力の状態によって3種類ある。
- 家庭裁判所に利用を申し立てることにより、家庭裁判所が成年後見人を選ぶ。

任意後見制度

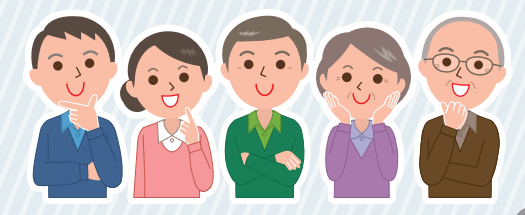
- 将来に備えて、判断能力が不十分になる前に申請して利用できる。
- 判断能力があるときに、「誰に」「どんな支援をしてもらうか」を事前の契約によって決めておく。
- 申立先は、家庭裁判所。

成年後見制度の担い手

- 親族**
利用者の親族
(配偶者や子ども、孫、おじ、おばなど)
- 専門職**
弁護士・司法書士・行政書士・社会福祉士
- 法人**
社会福祉法人やNPO法人など
- 市民後見人**
市民後見人養成講座を受講した一般市民

成年後見制度は、判断能力の不十分な方々に対して後見人を選任することで、本人の権利や財産が侵害されることがないように、法律面や生活面で社会が支援するという権利擁護のしくみです。

平成28年4月に成立した成年後見制度利用促進法では、市民後見人を「認知症、知的障がいその他の精神障がいがあることにより財産の管理または日常生活等に支障がある方を社会全体で支えあう」といった地域共生社会の実現に向けた権利擁護の重要な担い手としてとらえ、地域からの期待は高まりをみせています。



社会福祉法人の社会貢献活動を紹介

～社会福祉法人の社会貢献活動事例集 Vol.4 から～

様々な地域課題に対して、社会福祉法人の社会貢献活動を紹介する事例集を作成していますが、それぞれの地域で創意工夫をし、奮闘する社会福祉法人の中から今回は、中津市のもみじ園が実施している就労訓練の取組を紹介します。

自信を付け一般就労へ

働くことが困難な人への訓練提供

中津市耶馬溪町の指定障害福祉サービス事業所もみじ園は、働くことに困難を抱える人を支援する認定就労訓練事業を始めました。この事業では、長期離職者や心身に課題のある人らが社会とつながり、仕事をしていくための道筋を付ける支援を行っています。

認定就労訓練事業は事業者が自治体の認定を受け、すぐに一般企業で働くことが難しい人に就労の機会を提供するものです。もみじ園は2019年8月に県から認定を受けました。就労継続支援B型事業所としてのノウハウを活かして同10月から1人を受け入れ、訓練を実施しています。

訓練として就労を体験する「非雇用型」と雇用契約を結ぶ「雇用型」があります。月～金曜日の毎日、さまざまな作業を行っています。自信をつけてステップアップしていき、一般就労につなげることを最終的な目的としています。

利用する県内の30代の男性は大学卒業後ずっと自宅にいましたが、県内の社会福祉協議会とつながり就労支援へと結びつきました。訓練内容は、園で製造

販売するクッキーのラベル作りや食品加工作業、ユズやカボスの収穫といった農作業、プランターでの植物栽培など多岐にわたります。

サポートする職員と日々の取り組みを振り返り、社協の担当者も交えて随時話し合いを持ち、順調に活動の幅を広げてきました。「これまでは何をするのも怖かったが、外に出ていろいろ経験していくうち、次のステップを考えられるようになってきた」と話してくれました。起床時間や帰宅後の行程など毎日のサイクルができ、リズムが整うと自然に体を動かすようになったそうです。「ここでの経験を活かし、やっていける気がしている」と前を向き始めました。

コミュニティソーシャルワーカーの瀬戸間ゆかりさんと平原伸理事長は「今、同じように悩んでいる人はたくさんいます。周囲の理解と配慮さえあればきっと力を発揮できるはず。どんな仕事に向いているのかを考え、これまで自分でも気付いていなかったような得意分野に気付くきっかけにしたいと思っています。就職してから相談できる、力になれる人が増えたと思ってほしい。」と話しました。



プランターで育てるイチゴ



食品加工など、日々体験する作業内容は多岐にわたる



社会福祉法人 下毛もみじ会

住 所 〒871-0401 中津市耶馬溪町大字平田1479番地1
T E L 0979-54-3490
理 事 長 平原 伸

指定障害福祉サービス事業所もみじ園
運営施設(事業所) 共同生活支援事業グループとちの木・とちの木2
特定相談支援事業・障がい児相談支援事業サポートセンターもみじ、生計困難者に対する相談支援事業“おおいたくらしサポート”事業



あすびあ おおいた oita

2年ぶりとなる主催大会を開催しました！

「あすびあおおいた(大分県身体障害者福祉センター)」では、例年、スポーツ等を中心とした各種大会を開催していますが、昨年度は新型コロナウイルスの影響により全ての大会が中止となり、参加を楽しみにしていた多くの方から「残念だ」、「来年は是非開催してほしい」といった多くの声が寄せられました。

今年度は感染状況にも留意し、また、予防対策に万全を期しながら7月11日(日)には「第36回将棋交流大会」を、7月18日(日)には「第26回ふうせんバレーボール大会」を、そして8月1日(日)には「第36回囲碁交流大会」を2年ぶりに開催しました。いずれの大会も久しぶりの再会を喜び合う風景が随所で見られ、改めて大会への参加を楽しみにしている方の多さに驚かされました。

なお、大会の結果と、今後の予定は下記のとおりです。

第36回将棋交流大会(参加者:17人)

Aクラス

優 勝 村尾 猛(大分市)
準優勝 小林 勝己(大分市)
第三位 古城 友安(大分市)

Bクラス

優 勝 三浦 颯斗(大分市)
準優勝 佐藤 住次郎(大分市)
第三位 熊谷 博臣(大分市)

Cクラス

優 勝 三浦 紀靖(大分市)
準優勝 樋口 賢司(大分市)
第三位 渡辺 瑛士(大分市)



第26回ふうせんバレーボール大会(参加者:77人)

優 勝 ゆめいろB(大分市)
準優勝 にゃんこの眼(中津市)
第三位 スカイラブ(大分市)

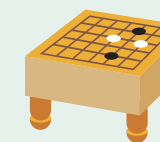
交流の部優勝 大山うめぐり(日田市)



第36回囲碁交流大会(参加者:8人)

Aクラス 優 勝 清水 幸雄(大分市)
準優勝 宿理 勝(大分市)

Bクラス 優 勝 井上 秀能(大分市)
準優勝 室 康雄(大分市)



★今後の主催大会の予定★

大会名	開催日(予定)	対象者
第16回フライングディスク大会	令和3年12月 4日(土)	障がい者(児)・一般愛好家
第35回大分県社会福祉協議会会長杯卓球大会	令和3年12月 5日(日)	障がい者(児)・一般愛好家
第35回サウンドテーブルテニス大会	令和3年12月12日(日)	視覚障がい者 当該競技に理解のある方
第7回スポーツウエルネス吹矢大会	令和4年 2月 6日(日)	障がい者(児)・一般愛好家
第4回オセロ交流大会	令和4年 3月 6日(日)	障がい者(児)・一般愛好家

※諸事情により、中止または延期もあります。ご了承ください。



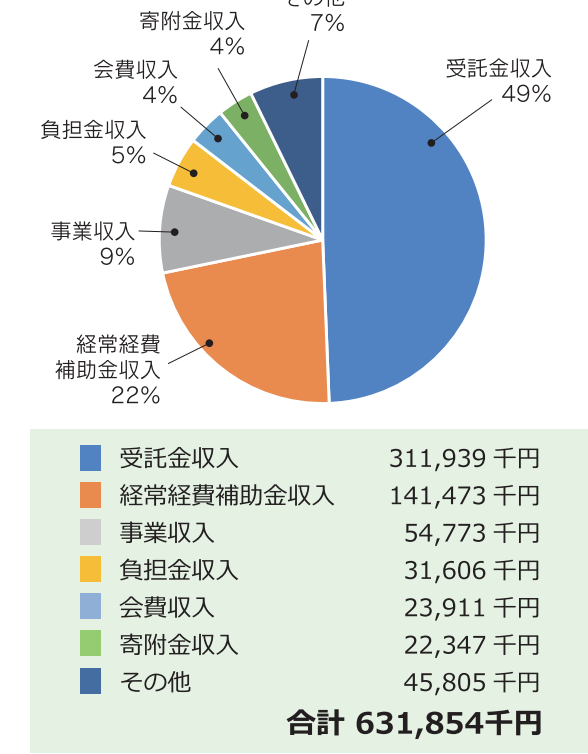
大分県社会福祉協議会

令和2年度決算報告

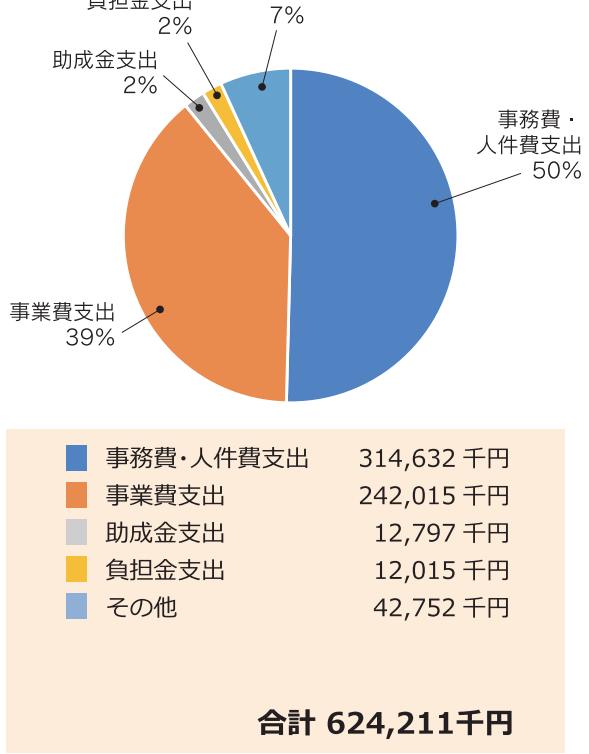
令和2年度、本会では新型コロナウイルスの感染予防対策を講じながら、地域共生社会の実現に向けた各種事業や、福祉・介護人材の育成や確保、生活困窮者への支援等に取り組みました。

令和2年度決算概要(社会福祉事業)

収入内訳



支出内訳



令和2年度事業報告並びに決算書の詳細は、本会ホームページに掲載しています。

賛助会員ご紹介

(敬称略・五十音順)
令和3年8月1日現在

本会の活動に賛同いただける「賛助会員」へのご加入をお願いしています。賛助会費は、県内の地域福祉活動を支援するために使われています。ご加入いただきありがとうございます。

伊東 雅人	大分県商工会議所連合会	大日商事株式会社
医療法人岡仁会 大分共立病院	大分電子工業株式会社	特定非営利活動法人ホビータ임
医療法人向心会 大貞病院	河野 千代子	特定非営利活動法人銀河鉄道
医療法人慈愛会 向井病院	株式会社アーテム	富高 義和
医療法人社団三杏会 仁医会病院	株式会社オー・ビー・シー	西永 和夫
医療法人社団親和会	株式会社テレビ大分	東九州設計工務株式会社
医療法人社団仁泉会 畑病院	株式会社三想	富士フィルムBI大分株式会社
医療法人社団内尾整形外科医院	株式会社大分銀行	丸果大分大同青果株式会社
医療法人大分朋友会	株式会社大分放送	松田 重博
一般財団法人愛の里	株式会社電子印刷センター	名鉄観光サービス株式会社 大分支店
一般社団法人生命保険協会 大分県協会	株式会社豊和銀行	モジュンダル由美子
一般社団法人大分県建設業協会	神本 紀武	有限会社ワイズケア
一般社団法人大分市医師会	グローバルライフ生石	有限会社寺司装備
臼杵 清次	玖珠NOK株式会社	有限会社大分エンゼル商事
梅木 豊誌	公益社団法人大分県理学療法士協会	有限会社福 小池原福招苑
大津 幸江	社会福祉法人玖珠会	有限会社明友
大分県医師会	社会保険労務士事務所SRI	よしどめ内科・神経内科クリニック
大分県済生会日田病院	新日本法規出版株式会社 福岡支社	ライフホームまない
大分県司法書士会	セイブ海外研修協同組合	

第三十二回 豊の国ねんりんピック

シルバーふれあい短歌・俳句・川柳

『豊の国ねんりんピック シルバーふれあい短歌・俳句・川柳』は、高齢者の創作活動を促進するとともに、心身ともに健やかで充実した長寿社会の実現を目指した取り組みを長年継続し、今年で三十二回目の誌上大会開催となりました。毎年1月1日から1月31日までの期間に、短歌・俳句・川柳の作品を募集し、今年も多くの応募をいただきました。その中で、各部門の特選入賞者の趣向を凝らした作品をご紹介します。是非、作者の気持ちになり、想像しながらお読みください。

運営協力:大分県歌人クラブ・大分県俳句連盟・大分県番傘川柳連合会

短歌の部

特選
田染 鈴子さん(大分市)

評 伊勢 方信 選
株価の変動を景気の指標とする世にあって、時代の実態をとらえるのは容易ではない。この歌、新型コロナウイルス禍のもとで、竣工を急ぐビルの売上の幟に、春を待つ、希望に近いものを感じている。

特選
大塚 常代さん(竹田市)

評 山本 和可子 選
シルバー世代の歌とは思えない感性豊かなみずみずしい秀作。「帆を張る」「空をとぶ」「青野」「風が吹き上がる」どのフレーズも読者に青春を思い出させる。材料が多いのに統一感があり、構成が巧みで韻律も美しい。

特選
神徳 和雄さん(津久見市)

評 太田 宅美 選
身近な人の出征に励ましの日の丸旗を振った駅での76年いや、その前の駅での回想歌。その駅が時代の流れを経て現在は無人駅で一入淋しく感じられる作者の心の裡が見える。折からの時雨も詩的雰囲気充分である。

俳句の部

特選
竹下 百合子さん(大分市)

評 山下かず子 選
冬も終わりになる頃、ふとした事に春の喜びを感じるもの。ぽこぽこと盛り上がった土は厄介者のモグラの為業。それさえも笑ってゆるせるのだ。「トントントン」のリズムが春隣とよく響いた。

特選
松田 君子さん(大分市)

評 吉原 白天 選
今まで白内障にかかって見えなかった目が手術で急に見え出した。その驚きを雪の白さが鮮明に見えた事を句に見事に表現している。しかも、「かな」を用いて強調している。おそらく実体験を通しての素晴らしい句である。

特選
吉田 伸子さん(中津市)

評 古賀 宣道 選
新盆の句だが名詞の羅列だけで何も語られていない。初盆の主、ギターケースの所有者、椅子の上にある理由、全てを季語と読者の想像に委ねたのだ。省略による寡黙と抑制により強く悲痛な思いを感じてしまうのである。

川柳の部

特選
佐藤 昭徳さん(大分市)

評 相部 秀彦 選
残り少ない人生、毎日仕事に励み百歳を目指している。まさに人生百年時代に相応しい佳句。今やさきの見えない不透明な面もあるが平均余命だけはのび長命国となったが誰もが幸せな喜び合える長寿国の実現を願っている。

特選
衛藤 巖さん(玖珠町)

評 福澤 廣明 選
後継者を鍛え直す意気を感じる句です。タオルで鉢巻をして鍬をふる図が目につかびます。今は、後継者がいない農家が多く、悩んでいる親父さんも多いと思われます。「鍬で直す」ところは、捻りのある句でした。

特選
遠藤 隆久さん(別府市)

評 矢野 美佐江 選
古稀を過ぎても、まだ生きがいのある仕事をして、がんばっている姿に感動した句です。ありがたいと感謝しながら暮らしていて、しあわせですね。